

# 小原歌舞伎定期公演

小原歌舞伎は年2回定期公演が行われています。

## さつき 五月公演 (5月)



すがわらでんじゅてならいかのみ てらこや  
菅原伝授手習鑑 寺子屋

毎年、5月の最終日曜日には小原交流館で五月公演が開催されます。小原歌舞伎の保存・伝承に励む保存会の会員が、日頃の練習の成果を披露する場となっています。

## 文化まつり公演 (10月)



ちごぞろえそが しきかわ ゆい がはま ば  
稚児揃曾我的敷皮 由比ヶ浜の場 (子ども歌舞伎)

毎年、10月下旬の日曜日には小原交流館で小原文化まつりが開催されます。地域の芸能発表や作品展示とあわせて、小原歌舞伎が上演されます。

### 案内図



- 交通機関ご利用の場合.....
- ★名鉄豊田市駅から とよたおいでんバス小原・豊田線 上仁木行きに乗車 永太郎バス停下車 所要時間約1時間
- 自動車ご利用の場合.....
- ★猿投グリーンロード中山IC又は東海環状自動車道豊田藤岡ICから国道419号を瑞浪方面へ。所要時間約25分
- ★中央自動車道瑞浪ICから国道19号を恵那方面へ。市原交差点を右折し県道20号に入り、大川交差点を右折、国道363号へ。途中国道419号を豊田市方面へ。所要時間約30分

### 小原歌舞伎サポーター募集

年度会費1,000円により小原歌舞伎の維持・普及を図ります。会員特典として、小原歌舞伎の情報誌を定期公演前にお届けします。お申し込みは豊田市役所小原支所まで。

### ●小原歌舞伎保存会

TEL0565-65-3276 (会長宅)

### ●豊田市役所小原支所

TEL0565-65-2001・FAX0565-65-3695



豊田市無形民俗文化財

# 小原歌舞伎



すがわらでんじゅてならいかのみ くるまびき  
菅原伝授手習鑑 車曳

江戸時代中期ごろ、神社に奉納する地芝居として始まった小原歌舞伎。いにしえからの技と伝統が、今も脈々と受け継がれています。

# 小原歌舞伎の歴史

小原歌舞伎は、江戸時代中期に地芝居として始まったといわれています。地芝居は全国的にみて山村地帯に分布しているところから、娯楽に乏しい村人の心を慰めるものとして始まり、後世に引継ぎ伝えられたものと考えられます。

## ①地芝居 江戸時代中期～

地芝居は、もともと神社に奉納するものとして始まったしろうと歌舞伎でした。「今年しゃ豊作だで、秋のお祭りに狂言でもやったらどうすらや。」の声が集落内に起きると、元老連へ申し込まれ、次いで寄合が開かれ、ここでみんなの意見がまとまると上演が本決まりとなりました。地芝居は、戦後では昭和24(1949)年ころが全盛期で、以後次第に衰え、神社舞台での上演は昭和30(1955)年が最後となりました。

## ②万人講芝居 明治時代中期～

明治時代中期になると、地芝居を大体会得した芸達者で熱意のある人達が、それぞれの集落から集まって万人講を組織しました。万人講は、いわば趣味を兼ねた俳優一座といえます。上演先は地区内はもちろん、隣接の東加茂郡や岐阜県の柿野・瑞浪などへも出かけました。

万人講の芸域は非常に幅が広く、様々な演目を上演しました。最盛期には座員数が40～50人に達するほどでしたが、昭和35(1960)年が最後の興行となりました。

## ③小原歌舞伎保存会 昭和後期～

その後、有志により小原歌舞伎愛好会が発足しましたが、会員の高齢化に伴い、後継者育成が急務であるとして、昭和50(1975)年に愛好会から保存会へと名称・機構を改め、現在も定期公演を継続して、小原歌舞伎の保存・伝承に力を尽くしています。

小原歌舞伎は、平成元年(1989)年に旧小原村無形民族文化財に指定され、平成17(2005)年に旧小原村が豊田市と合併したため、市指定の文化財に引き継がれました。

## 温故知新 ～小原歌舞伎と農村舞台～



賀茂原神社／小原町

江戸時代中期から明治の初期にかけて、各集落の神社には農村舞台

が相次いで建てられました。

小原地区には、このような舞台が現在でも複数残っており、地芝居が盛んであった当時の様子がうかがえます。

# 小原歌舞伎十八番

えほんたいこうき 絵本太功記  
あまがさきかんきよ ば 尼ヶ崎閑居の場



武智光秀が、主君である小田春長を本能寺で害したことにより始まる一族の悲しい定めを描いた一幕

よしつねせんぼんざくら 義経千本桜  
よしのやまみちゆき 吉野山道行



源義経の後を追う絶世の美女静御前とそれに仕える架空の狐忠信との夢幻的な道行的一幕

## 小原歌舞伎ココがポイント!

- ★江戸時代中期から伝わる伝統芸能!
- ★役者だけでなく、太夫・三味線、道具も全て自前!
- ★公演時には、交流館内にザ・小原座が出現!
- ★入場無料!

受け継がれる伝統芸能を心ゆくまで堪能できます。